

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【公開番号】特開2017-59252(P2017-59252A)

【公開日】平成29年3月23日 (2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-228769(P2016-228769)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

G 0 7 G 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 9/00 4 1 0 B

G 0 7 D 9/00 3 2 8

G 0 7 G 1/00 3 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月19日 (2017.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

貨幣を収納する第 1 の収納庫および第 2 の収納庫を備える貨幣収納装置であって、
投入口へと投入された貨幣を前記第 1 の収納庫に収納させる第 1 の収納手段と、
前記第 1 の収納庫に収納されていた貨幣を前記貨幣収納装置の外部へと払い出すための
払出口と、

前記第 1 の収納庫に収納されていた貨幣を前記払出口に向けて搬送する搬送ベルトと、
第 1 の状態では、前記搬送ベルトにより搬送された貨幣が前記払出口を通過することを
妨げず、第 2 の状態では、前記搬送ベルトにより搬送された貨幣を前記払出口に到達させ
ることなく前記第 2 の収納庫へと送り込む経路切換部材と、

前記第 1 の収納手段が前記貨幣を前記第 1 の収納庫に収納させる前に、収納させた後に
おける前記第 1 の収納庫における金種毎の収納枚数に基づいてオーバーフローが生じるこ
とを判定する判定手段と、

前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣を釣銭として払い出す必要がある場合には
、前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の一部を搬送するように前記搬送ベルトを
制御するとともに、前記経路切換部材を前記第 1 の状態とし、また前記判定手段によりオ
ーバーフローが生じることが判定された場合には、前記第 1 の収納手段が前記貨幣を前記
第 1 の収納庫に収納させる前に、前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の一部を搬
送するように前記搬送ベルトを制御するとともに、前記経路切換部材を前記第 2 の状態と
する制御手段と、を具備することを特徴とする貨幣収納装置。

【請求項 2】

前記第 1 の収納庫は、前記貨幣を金種毎に収納する、ことを特徴とする請求項 1 に記載
の貨幣収納装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の数量に、前記投入口へ
と投入された前記貨幣の数量を加えた数量が、前記第 1 の収納庫に収納可能な前記貨幣の
数量を越える場合に、前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の一部を搬送するよう

に前記搬送ベルトを制御するとともに、前記経路切換部材を前記第 2 の状態とする、ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の貨幣収納装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記貨幣を釣銭として前記払出口から払い出した後に前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の数量に、前記投入口へと投入された前記貨幣の数量を加えた数量が、前記第 1 の収納庫に収納可能な前記貨幣の数量を越える場合に、前記第 1 の収納庫に収納されている前記貨幣の一部を搬送するように前記搬送ベルトを制御するとともに、前記経路切換部材を前記第 2 の状態とする、ことを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれか一項に記載の貨幣収納装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

実施形態の貨幣収納装置は、第 1 の収納庫、第 2 の収納庫、第 1 の収納手段、払出口、搬送ベルト、経路切換部材、判定手段および制御手段を含む。第 1 の収納庫および第 2 の収納庫は、貨幣を収納する。第 1 の収納手段は、投入口へと投入された貨幣を第 1 の収納庫に収納させる。払出口は、第 1 の収納庫に収納されていた貨幣を貨幣収納装置の外部へと払い出す。第 2 の収納手段は、第 1 の収納庫に収納された貨幣を第 2 の収納庫に収納させる。搬送ベルトは、第 1 の収納庫に収納されていた貨幣を払出口に向けて搬送する。経路切換部材は、第 1 の状態では、搬送ベルトにより搬送された貨幣が前記払出口を通過することを妨げず、第 2 の状態では、搬送ベルトにより搬送された貨幣を払出口に到達させることなく第 2 の収納庫へと送り込む。判定手段は、第 1 の収納手段が貨幣を第 1 の収納庫に収納させる前に、収納させた後における第 1 の収納庫における金種毎の収納枚数に基づいてオーバーフローが生じることを判定する。制御手段は、第 1 の収納庫に収納されている貨幣を釣銭として払い出す必要がある場合には、第 1 の収納庫に収納されている貨幣の一部を搬送するように搬送ベルトを制御するとともに、経路切換部材を第 1 の状態とし、また前記判定手段によりオーバーフローが生じることが判定された場合には、前記第 1 の収納手段が前記貨幣を前記第 1 の収納庫に収納させる前に、第 1 の収納庫に収納されている貨幣の一部を搬送するように搬送ベルトを制御するとともに、経路切換部材を第 2 の状態とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

CPU30 は、Act17 を終えたならば、Act18 へと進む。なお CPU30 は、金種 A ~ F のいずれにおいてもオーバーフローが生じないならば、Act14 にて No と判定し、Act15 ~ 17 をパスして Act18 へと進む。